



大城 保  
議員



### 農業振興について

**質** 原油価格の高騰や輸送費の上昇、また円安等に伴い全ての農業資材が20%程度、化学肥料が60%、配合飼料は1.5倍高騰、現在の農家の置かれている現状をどのように把握しているか、何らかの支援が必要だと思いますが。

**答** 農林水産課長(宮平 寛)

資材高騰、飼料の高騰、農家より、話を伺っています。支援として、通常の補助率に10%上乗せで対応している。



**質** 支援を上回るペースで値上げの波が押し寄せています。農家支援に地方創生臨時交付金を活用できないか。

**答** 農林水産課長(宮平 寛)

地方創生臨時交付金、新年度において出てくるようであれば、検討したい。

**質** 村内でエコ認証やJAS有機農業の取り組んでいる農家があります。堆肥に対する補助率アップ、有機農業、天敵農法、忌避剤、有機肥料、その品目に対しても補助対象として検討できないか。

**答** 農林水産課長(宮平 寛)

環境に配慮した農業を展開するためには必要であり村が目指すSDGs戦略にも合致する補助対象として検討させて頂きたい。

**質** 農業支援アドバイザーについて以前に常動または、週2、3日の勤務を望む、質問をしました。予算的なことなのか。アドバイザー本人の希望なのか。

**答** 農林水産課長(宮平 寛)

村の農業アドバイザーだけではなく、他の団体、大学の非常勤講師もしています。現状としては厳しい。本人の希望のほうが強いです。

**質** 現在、中学生は使えないとホームページでみたのですが、トレーニングルームを見た場合に機材は大人向けかと、現状そういう感じがしました。誰でもできる器材を今後導入する計画はあるか伺います。

**答** 社会教育課長(長浜 健一)

現在機材については、韓国プロ野球球団の御厚意により設定している機材を活用させていただいている状況にあります。機能強化計画を本年度中の策定を予定しておりその中で一般、学生向け、中高年齢者も含め総合的に活用できる機材の設定について検討していければと考えています。

### 健康増進センターについて

**質** 夏休み親子で入れるプールと中学生の筋トレ施設、リハビリ施設、親子で遊べる公園を赤間運動公園周辺に集約することで、村民の健康促進、医療費の削減、子供の肥満防止等につながると思いますが、それを踏まえて健康増進センターの建設予定があるか伺います。

**答** 社会教育課長(長浜 健一)

社会教育課だけではなく、関係する課も多くありますので所管課として、プールやトレーニング機材を備えたセンター設置は村民の健康増進、スポー

### 放課後児童クラブについて

**質** 村内の施設の現状を伺います。

**答** 福祉課長(石川 司)

5支援の児童クラブがあり定員数は5学童で175名、利用者数が147名と84%の利用者数になっています。

**質** 放課後児童クラブの現状を把握するために5つの施設に向いて聞き取りをしてみました。温水シャワーの設置、ガスコンロ、換気扇の要望がありました。施設側から修繕、改善の要望はあったのか。

**答** 福祉課長(石川 司)

施設側からの施設の改善や要望等については常時各学童クラブと連絡を取り合い、運営上、支障のある施設修繕等を行なっているところです。

**質** 各施設で支援員の確保が厳しいと伺っています。支援員の確保については。

**答** 福祉課長(石川 司)

何らかの支援ができないか支援員の確保においては各学童クラブ2名から5名程配置されていますが、パート支援員などが配置されているため、支援員不足の状況であります。支援員研修などを実施させ、支援員確保に努めて

**質** 振興につながるかと理解し、検討すべき課題だと考えており、赤間機能強化整備計画策定委員会の中でも親子で遊べる遊具等の設置も提案し、検討しているところですか。

**答** 健康保険課長(新里 勝弘)

健康づくり主管課として、介護予防や高血圧、肥満などの生活習慣病の改善に十分効果があると理解しています。次年度に向けて健康増進機能を有した民間施設、近隣市町村の施設を村民が利用しやすい環境づくりに調整して、了解を得られた施設もあります。

### 中学校の部活動について

**質** 部活動は何部あるか。

外部指導員は何名か。村外では企業納税を活用してスポーツデータバンクと連携している学校が9校ある。今後の外部指導者、ボランティアでやるのか伺いたい。

**答** 学校教育課長(仲村 泰弘)

部活動は13部活動となっています。外部指導者につきましては、学校現場の意見を聞きながら恩納村に合った導入を検討していきたい。

いきたくと考えています。今後は、年3回、4月、9月、11月に連絡会を開催し、運営状況、施設状況、子供たちの状況等の情報を共有し、厚生労働省が示す放課後児童クラブ運営指針に沿った運営がなされているか、お互いに確認しながら学童クラブの役割に努めて行きたい。

**提** 今後も施設側と連絡を密にして、全ての子供が健やかに育ち、親が安心して楽しく子育てのできる環境づくりに取り組んでいただきたい。



**質** 夜10時頃まで練習をしているという話を聞いたりしているけれども、学校側も容認しているのか。中学生が10時までやるのはどうかと思うのですが、その辺は認識しているか伺います。

**答** 学校教育課長(仲村 泰弘)

部活動の時間が8時を超えて実施されることはありません。学校教育以外のクラブチームで利用が8時以降使用しているということになります。

### 赤間運動公園の活用について

**質** 村民のトレーニングルームの利用状況、年齢層、男女の比率も分かれば伺います。

**答** 社会教育課長(長浜 健一)

令和2年度は2589名、令和3年度は2475名の利用、村民利用については新型コロナウイルス感染症の影響を考えれば増加傾向にあると考えています。年齢層とか統計はありません。今後必要となれば検討していきたいと考えています。



亀谷 梢  
議員

